

# パーティシペーティング・コリドー（輸入向け）

シミュレーション報告（標準フォーマット）

## 1. 戦略の概要

パーティシペーティング・コリドー（輸入向け）は、Long PutとShort Callを組み合わせる輸入企業向けヘッジ手法です。輸入者が為替の円安リスクを抑制しつつ、円高メリットの一部を享受できるよう設計されています。参加率（ $r$ 値）により、円高メリットをどの程度保持するかが調整可能です。

## 2. パラメータ条件

- ・ スポット ( $S_0$ ) : 150.0
- ・ Put行使価格 ( $K_p$ ) : 148.0
- ・ Call行使価格 ( $K_c$ ) : 152.0
- ・ 数量 : 1,000,000 USD
- ・ ボラティリティ : 10%
- ・ 満期 : 1か月
- ・ USD金利 : 4.20%、JPY金利 : 1.60%
- ・ 参加率  $r = 0.5$ （円高メリットの50%を享受）

## 3. コスト比較

オプション料の内訳 : Call Premium 815,464 JPY、Put Premium 1,003,679 JPY。純額は約 -188,215 JPY

の支払超過であり、ゼロコストに近い水準で実現。借入利息（参考値） : 525,000 JPY。

## 4. リスク限定効果

- ・ 最大損失 : -2,000,000 JPY程度（円安側で限定）
- ・ 最大利益 : 約+6,000,000 JPY（円高側で参加率に応じて限定的に享受可能）
- ・ 参加率50%のため、円高メリットは半分のみ獲得。

## 5. 損益分岐点分析

- ・ 損益分岐点 : 149.69

JPY付近。円安側では損失が一定幅で抑制され、円高側では限定的にメリットが生じる。

## 6. 総括

輸入企業にとって実務的に有効な戦略であり、急激な円安への備えと円高メリット享受のバランスを調整可能。ただし、参加率を低く設定すると円高メリットを放棄する割合が大きくなるため、実需に応じた $r$ 値の設定が鍵となる。

## 7. 参考図表

以下に、シミュレーション条件と損益分岐点グラフを示します。

Participating Collar（輸入向け）

Spot (S0)	Call Strike (Kc)	Put Strike (Kp)	参加率 r (0~1)
150.0	152.0	148.0	0.5
Volatility (%)	JPY Rate (%)	USD Rate (%)	Tenor (months)
10.0	1.6	4.2	1.0
Notional (USD)	Min Rate	Max Rate	Grid Points
1000000	140.0	162.0	353

計算する

CSVダウンロード

プレミアム

Call Premium: 0.815464 USD (815,464 JPY)  
Put Premium: 1.003679 USD (1,003,679 JPY)

Break-even

Lower: 149.69  
Upper: 0.00

損益分岐点グラフ

